

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-13 衛生・害虫駆除事業				タイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				589	衛生・害虫駆除事業	
主管課	環境保全課		関連課				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努める。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	4,284千円	6,594千円				
	(国・県)						指標と評価
	(負担金等)						
	(一般財源)	4,284千円	6,594千円				指標
	人員配置数	3.0人	3.0人				スズメバチの相談で現場 確認を行い駆除した割合
	人件費	26,624千円	21,215千円				評価
	協働の パートナー						◎
事務事業 運営経費	総事業費	30,908千円	27,809千円				◎ ◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退
	市民1人当 りの経費	175円	158円				目標値
	対象者1人 当りの経費						実績値
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						20年度
							70%
							87%
							21年度
							70%
							82%
							22年度
							80%
							23年度
							80%
							最終年度 (25年度)
							90%
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・ハチの営巣活動は、天候に左右されるもののアシナガバチ等危険性の少ないハチの巣の駆除相談が減少しない。					
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・ハチの巣の駆除対応マニュアルを作成し環境保全課窓口及び各支所にて配布、また広報「かまくら」や市ホームページにて自分で駆除できるアシナガバチの巣などの駆除方法などを周知した。					
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・危険性の高いスズメバチの巣の駆除は対応可能な範囲で依頼に基づき市が駆除を行なっているが、ハチの営巣活動は気象条件等に左右され時期が集中する傾向にあるため、対応について順番待ちとなることもある。					
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・スズメバチの巣の駆除については可能な限り対応を待たせない体制を検討。アシナガバチ等の駆除方法についてさらに広報「かまくら」や市ホームページを活用しての周知を進める。また、現在は市職員が駆除を実施しているスズメバチの駆除について、職員減員時の対応として、将来的に委託や補助金等の制度も含め検討。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	今後もスズメバチの巣の駆除については、対応方法を検討していくとともに、害虫駆除業務等については、職員の減員時の対応として将来的に委託化を含め検討を進めていく。			評価結果	改善の必要性	害虫駆除業務は、事業委託を含めより効率的な方法を検討していく。
B	有				B	有	
課長名		黒岩弘之			部名・部長名		環境部 相澤 千香子